

# 各務原市新総合体育館建設基本構想・基本計画策定委員会 かわら版 第8号

令和3年11月発行

令和3年10月19日（火曜日）午前9時から開催しました第8回委員会では、施設の運営方針、候補地の案、ゾーニング・動線計画について説明し、委員からご意見を伺いました。



## ■施設の運営方針について

### 1.施設運営方針

スポーツ活動の拠点としての機能の向上に加え、市の中央部における防災機能の向上、周辺地域の活性化に寄与するような魅力ある施設としての運営を検討します。

### 2.提供するサービス

- ・プロスポーツ大会等：市民の方に見ていただけるよう、地元チーム等の試合の誘致を検討
- ・飲食物の取り扱い等：カフェ等の飲食施設機能や市民向けの教室プログラム等の導入について、民間事業者の活用も含めて検討

### 3.稼働率の想定（各競技団体へのヒアリング結果を踏まえた、年間利用想定について）

利用シーンごとの貸出方法を検討することで、高い稼働率を維持できると想定されます。

利用日	貸出方法
土・日・休日	各種団体主催の大会や試合、プロなどアリーナ・室単位での全体貸し
平日・夜間	チーム単位でアリーナを分割した面貸し
平日・日中	面貸しに加え、利用が少ない時間帯に個人利用の枠を設定

### 4.可動席の活用状況の想定

各競技団体の大会希望等を反映すると、大規模イベントの利用可能日数は最大で年間10日程度と想定されます。その際利用が想定される可動席の常設整備については、採算性を検証する必要があります。

#### 委員からの主なご意見

- ✓ 体育館全体の稼働率を向上させるためには、平日・日中に利用してもらうための工夫が必要である。
- ✓ 可動席を常設整備することで、興行時の設営時間や費用を減らせるため、プロスポーツ大会等が誘致しやすくなる。

## ■候補地の選定について

基本構想において設定された各務山の前町地区において、体育館としての必要規模を確保できる候補地3区域を抽出し、周辺施設との連携や計画敷地へのアクセス動線、交通の安全性、円滑な事業推進を考慮し、比較検討を行いました。※地権者への影響を踏まえ、候補地は決定後に公表いたします。

指標	項目	考え方	
敷地特性	利便性	1 公共交通の有無	鉄道駅、バス停が近くにあるか
		2 主要道路からのアクセス性	敷地へアクセスしやすいか
		3 活用の柔軟性	周辺広場等との一体活用が可能か
		4 工場の立地条件	大型車両の頻繁な通行の有無
敷地条件	5 敷地活用への影響	インフラ、既存住宅等への影響の有無	
	6 将来のニーズ変化への対応	ニーズ変化に伴う拡張がしやすいか	
事業性	経済性	7 インフラ移設等の必要性	既存のインフラ施設の移設が必要か
		8 周辺商業地への影響	徒歩圏内での飲食・物販施設の有無
	9 建物補償の有無	建物補償が必要となるか	
手続き等	10 埋蔵文化財包蔵地	埋蔵文化財包蔵地に該当するか	

#### 委員からの主なご意見

- ✓ 主要道路からアクセスしやすい候補地が良い。
- ✓ 既存のスポーツ広場公園と一体的な活用が可能となる候補地が良い。
- ✓ 中高生の利用を考えると、駅からの距離が近い方が良い。
- ✓ 建物補償が必要となる候補地は好ましくない。

## ■お問い合わせ先など



委員会の様子やかわら版のバックナンバーについて、市ウェブサイト（右記QRコード）で掲載しています。委員会は公開していますので、傍聴を希望される方は会議の開始10分前までにお越しください。



各務原市役所  
教育委員会事務局 教育施設整備推進室  
TEL：058-383-7302（直通）  
FAX：058-389-0218  
MAIL：kyseibi@city.kakamigahara.gifu.jp